

### 第3章 健康づくり

保健サービス課

#### 1 成人保健

年齢、心身の状況に応じて健康教育、健康診査等の保健事業を総合的に実施し、生活習慣病等の予防、早期発見、早期治療を図るとともに、自分自身の健康に対する自覚を高め老後の健康と適切な医療を確保する目的で、区では次のような保健事業を実施している。

##### (1) 健康手帳の交付

健康手帳は特定健康診査（総合健康診査）・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に資することを目的とする。平成21年度からは、40歳の方に郵送しているほか、41歳以上の希望者に交付している。

年度	区分	交付総数	老人医療受給者証新規対象者	41歳以上の希望者
22		3,225	—	13
23		3,340	—	9
24		3,542	—	7
25		3,502	—	6
26		3,444	—	16

##### (2) 区民健診（循環器健診等）

健診機会の少ない40歳未満の区民を対象に、結核・生活習慣病の早期発見と予防を目的として健診を実施している。16年度からC型肝炎検査も別個同日に実施。

年度	区分	検 査 件 数							
		実人員	血圧測定	尿検査	血液検査	心電図	聴力検査	C型肝炎検査	B型肝炎検査
22		377	377	376	373	156	71	212	211
23		399(3)	399(3)	395(3)	392(3)	178(3)	70(3)	191(2)	192(2)
24		413	413	412	408	187	100	202	200
25		348	348	347	344	142	71	170	169
26		352	352	342	345	143	69	176	176

※23年度からは、厚生労働省の事務連絡「東日本大震災により被災したものに係る健康増進事業の実施に関する取扱いについて」（平成23年5月31日付）に基づき避難者が受診。

※（ ）は避難者数を外数で示したものの。

### (3) 総合健康診査

平成20年度から高齢者の医療の確保に関する法律等に基づいて40歳以上の者に健康診査を実施している。平成19年度までの基本健康診査と同じ健診内容とするため独自に上乘せ項目を追加して「総合健康診査」として、地区医師会に委託して協力医療機関で実施している。

区分		年度				
		22	23	24	25	26
国民健康保険	対象者(人)	40,484	40,500	40,026	40,008	39,381
	受診者(人)	15,564	15,367	15,382	15,557	15,572
	受診率(%)	38.44	37.94	38.43	38.88	39.54
後期高齢者医療保険	対象者(人)	17,476	18,049	18,562	19,195	19,373
	受診者(人)	9,020	9,268	9,454	9,895	10,069
	受診率(%)	51.61	51.35	50.93	51.55	51.97
生活保護受給者等	対象者(人)	5,334	5,926	6,048	6,155	6,772
	受診者(人)	1,253	1,327	1,498	1,552	1,607
	受診率(%)	23.49	22.39	24.77	25.22	23.73
計	対象者(人)	63,294	64,475	64,636	65,358	65,526
	受診者(人)	25,837	25,962	26,334	27,004	27,248
	受診率(%)	40.82	40.27	40.74	41.32	41.58

区分		年度				
		22	23	24	25	26
社会保険等加入者(上乘せ健診)	対象者(人)	42,397	42,106	43,374	44,506	46,327
	受診者(人)	1,801	1,907	1,904	1,976	1,967

### (4) 特定保健指導

平成20年度より特定健診(40歳から74歳)受診者のうち特定保健指導の該当者に保健指導を実施している。

(単位：人)

年度	総合健診受診者数 (国保加入者数)	保健指導対象者			保健指導 終了者	実施率 (%)
		動機付け支援	積極的支援	合計		
21	14,405	1,228	693	1,921	425	22.1
22	15,564	1,186	668	1,854	290	15.6
23	15,367	1,126	638	1,764	308	17.5
24	15,382	1,040	608	1,648	252	15.3
25	15,557	1,094	548	1,642	191	11.6

※動機づけ支援とは、初回面接から6ヵ月間に手紙・電話でのサポート。

※積極的支援とは、初回面接から6ヵ月間に面接・手紙・電話で数回サポート。

## (5) 糖尿病対策

平成25年度より、糖尿病予防及び重症化防止対策のために地域関係機関と協議会を設置し、糖尿病の知識の普及啓発と早期に医療に繋げるしくみ作りを行っている。

### ア 協議会 年3回

平成26年6月23日、9月29日、平成27年2月2日開催

### イ 区民向け講演会 年1回

実施日：平成27年3月7日（土）

テーマ：糖尿病講演会 ～安心して糖尿病治療を受けるために～

講師：永寿総合病院糖尿病臨床研究センター長 渥美義仁先生

下谷医師会医師 織田良夫先生

浅草医師会医師 塚原逸朗先生

浅草歯科医師会医師 横田雅美先生

浅草薬剤師会薬剤師 手塚嘉之輔先生 ほか計7名

参加者：126名

### ウ 糖尿病の知識の普及啓発

・糖尿病キャンペーン（11月1日～30日） 来場者数：115名

・区オリジナルリーフレット『「血糖値が高い」と言われたら』を作成し、地域関係団体に周知するとともに、糖尿病講演会で配布した。

## (6) 胃がん検診

胃がんの早期発見、早期治療を目的として区民（35歳以上）を対象に実施している。

区分 年度	受診者数	受診率	検診結果				がん発見者数 (疑い含む)
			異常なし	要精密	要経過観察	判定不能	
22	1,475	2.0%	1,182	201	88	4	2
23	1,398	1.9%	1,101	183	111	3	1
24	2,076	2.8%	1,668	171	237	0	4
25	2,826	3.7%	2,307	195	324	0	2
26	3,037	4.0%	2,546	170	321	0	2

※保健所でのがんセット検診に加え、平成22年度から医療機関でも実施開始。

## (7) 大腸がん検診

大腸がんの早期発見、早期治療を目的として区民（35歳以上）を対象に実施している。

区分 年度	受診者数	受診率	検診結果					がん発見者数 (疑い含む)
			異常なし	要精密	受診勧奨	要経過観察	検体不備	
22	19,339	22.6%	17,194	1,756	125	264	0	101
23	19,003	23.8%	17,162	1,563	75	203	0	57
24	19,283	23.8%	17,474	1,505	109	195	0	46
25	19,642	23.7%	17,845	1,513	284	0	0	37
26	19,707	23.5%	17,805	1,572	330	0	0	35

※保健所でのがんセット検診に加え、平成22年度から医療機関で総合健康診査と同時実施開始。

#### (8) 子宮がん検診

子宮頸がんの早期発見、早期治療を目的として、女性区民(20歳以上)を対象に実施している。(17年度から隔年受診)

区分 年度	受診者数	受診率	検診結果			がん発見者数 (疑い含む)
			異常なし	要精密	判定不能	
22	6,528	16.9%	6,401	124	0	3
23	6,225	24.4%	6,139	79	7	3
24	6,672	24.7%	6,576	80	16	6
25	6,807	26.5%	6,658	131	18	3
26	6,819	25.9%	6,627	175	17	2

※平成21年度から、国の施策として対象者へ無料クーポン券の配布を実施。

※平成22年度から体部検診を廃止し、20歳以上で偶数年齢の女性区民に対して個別通知の発送を実施。

※平成26年度から20歳以上で偶数年齢の女性区民に対して個別通知に替えてチケットの発送を実施。

#### (9) 乳がん検診

乳がんの早期発見、早期治療を目的として、マンモグラフィ併用検診を女性区民(40歳以上)を対象に実施している。(16年度から隔年受診)

区分 年度	受診者数	受診率	検診結果			がん発見者数 (疑い含む)
			異常なし	要精密	要経過観察等	
22	4,653	20.6%	—	326	—	8
23	4,557	24.6%	—	277	—	8
24	4,902	24.9%	—	274	—	8
25	5,117	25.8%	3,262	381	1,474	5
26	5,500	25.6%	3,637	364	1,499	1

※平成21年度から、国の施策として対象者へ無料クーポン券の配布を実施。

※平成22年度から視触診のみの検診を廃止。40歳以上で偶数年齢の女性区民

に対して個別通知の発送を実施。

※平成26年度から40歳以上で偶数年齢の女性区民に対して個別通知に替えてチケットの発送を実施。

### (10) 肺がん検診

肺がんの早期発見・早期治療を目的として区民（40歳以上）で検診を希望する者を対象に実施している。

年度	受診者数		受診率	異常なし		要精密者		要経過観察		がん発見者数 (疑い含む)
	X線	喀痰		X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	
22	844	128	1.3%	749	126	76	0	14	2	2
23	767	119	1.1%	660	118	91	0	16	1	0
24	899	92	1.3%	813	92	47	0	39	0	0
25	1,027	143	1.4%	920	143	68	0	31	0	0
26	1,025	134	1.4%	927	134	55	0	43	0	0

※保健所でのがんセット検診に加え、平成22年度から医療機関でも実施開始。

### (11) がん検診受診率向上対策

がんの早期発見・早期治療および死亡率減少に向けて、がん対策検討会を設置し、科学的根拠に基づく質の高い検診と精度管理を行い、受診率の向上を図る。

検討会：平成26年8月28日、平成27年1月27日、

平成27年3月23日開催

### (12) 耳鼻科検診

平成19年度から、「耳鼻科検診」として実施。健康診査のなかで問診により聴取した「声のかすれ・のどに異物感」がある者のうち、50歳以上の者又はブリンクマン指数600以上の者に実施する。

ブリンクマン指数：1日当りの平均喫煙量(本数)×喫煙年数

年度	区分	受診者数	検診結果			がん発見者数 (疑い含む)
			異常なし	所見あり		
				要精検	精検不要	
22		412	243	35	133	0
23		402	224	18	160	2
24		367	209	13	145	1
25		357	251	5	101	1
26		399	262	12	125	1

(13) 小規模事業所健診

台東区内の小規模事業所従事者を対象として、疾病の予防、結核・生活習慣病の早期発見を目的に実施している。

区分 年度	事業所数	実人員	胸部X線	尿検査	血液検査	心電図	聴力検査	C型検査 肝炎	B型検査 肝炎
22	206	484	481	481	484	484	484	187	187
23	170	446	436	443	445	446	446	130	128
24	177	434	429	421	433	434	434	92	92
25	177	386	386	385	386	386	386	116	116
26	136	321	319	319	321	321	321	55	55

※26年度から、肝炎のみの検査数は区民健診に計上。

(14) 耳の健康相談

3月3日の「耳の日」における事業の一環として、区民の耳の健康増進をはかるために「耳の講演会」を実施した。平成22年度までは日本耳鼻咽喉科学会東京地方部会に委託し、耳の健康相談を実施していたが、平成23年度より耳の健康相談事業は、日本耳鼻咽喉科学会東京地方部会の自主事業として開催されることとなったため、区としては事業を行わず後援をしている。

ア 耳の講演会

実施年月日：平成27年3月2日（月）

開催場所：台東保健所3階 大会議室

参加人数：54人

(15) 緑内障検診

60歳の区民を対象に、高齢者の視力低下や失明の大きな原因である緑内障等の早期発見・早期治療を目的に実施している。

実施年月：5月1日～3月31日

実施場所：区内協力医療機関

区分 年度	受診者数	総合判定			
		所見なし	経過観察	要精査	治療中
22	344	244	2	98	0
23	342	252	7	83	0
24	347	250	1	95	1
25	344	260	3	80	1
26	422	307	3	111	1

## 2 生きいき健康づくり事業

区民が健康で生きいきと暮らしていくためには、生涯を通じての自主的な健康づくりが大切である。区では、いち早く区民と区が一体となって健康づくりを推進するため、平成5年に、「健康都市宣言」を、つづいて13年度には「生涯健康宣言」を宣言した。また、平成19年には、全ての区民が住み慣れた地域でいきいきとその人らしく暮らしていくことができるよう「自助」「公助」そして、「共助」（地域社会全体で支え合うこと）の考えをふまえた『たいとう健康都市宣言』を行うなど、区を上げて健康づくり施策に取り組んできたところである。

### (1) 啓発推進事業

#### ア 生きいき健康づくり健康推進委員事業

地域における住民の自主的な活動を促すことにより、区民が自らの健康の保持と増進を図り、地域での保健衛生思想の普及と、地域での健康づくりを推進することを目的とし、平成3年度から一部地域をモデル事業として開始し、平成9年度からは、区内全域に拡大し、活動内容も充実してきている。

平成26年度活動内容は、下記のとおりである。

健康推進委員	全地区185名（H26年度より）		
地区連絡会	98回	延参加者数	1,168名
リーダー連絡会議	7回	延参加者数	72名
健康学習会	45回	健康推進委員 延参加者数	551名
		一般区民 延参加者数	1,867名
地域行事への参加	14回	健康推進委員 延参加者数	157名
		一般区民 延参加者数	3,009名
ウォーキングリーダー養成講座	1回	延4日間	延参加者数 136名
委嘱状交付式	※任期途中のため開催なし		
活動発表会	1回	健康推進委員	参加者数 122名
		町会関係者・市川市	参加者数 23名
交流会（市川市）	1回	健康推進委員	参加者数 18名
		市川市等	参加者数 31名

#### ◆ 用語説明

地区連絡会：健康推進委員と保健所職員等との連絡・調整や健康学習会の企画・地域行事への参加などについての打合

リーダー連絡会：保健所との連携、各地区の情報交換を目的とした会議。活動単位ごとのリーダー11名が出席。

健康学習会：健康推進委員主催で区民を対象に開催した講習・講演会等

地域行事への参加：健康推進委員が地域で行われる行事に参加したもの

委嘱状交付式：健康推進委員に委嘱状を交付する

活動発表会：2年間の任期中の活動内容を全体に報告するもの

## (2) 健康まつり

健康に対する区民の関心を高め、一生涯を通じて健康にいきいきと生活していくことを目指し、健康づくりや保健衛生についてのさまざまな情報を提供し、区民の健康の保持・増進を図る。また区民と協働して事業展開することで、地域と行政が一体となって支え合うしくみづくりを推進する。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
まちかど健康まつり開催数	3回	3回	3回
来場者数	633人	584人	311人

※平成24年度より健康課から保健サービス課に事業移管されたため、健康推進委員と協働してのまちかど健康まつりを主とした事業内容に変更した。

## (3) 健康学習

区民が生涯を通じて生きいきと豊かな生活を送る基盤は健康である。『自分の健康は自分で守り、つくる』という考えを基本として、知識の普及や生活習慣病予防、介護予防、健康づくりや育児支援等さまざまな目的をもって健康学習会を開催している。

	テーマ名	回数	参加者数	主な内容
母子保健	歯と口に関すること	25	1,155	母子・保育園児・幼稚園児等を対象とした健康学習と歯みがき指導
	保健に関すること	28	635	小児救急教室・育児相談における講習会（食品衛生など）・高校生を対象とした赤ちゃんとのふれあい教室 イヤイヤ期の対応・生活リズム・トイレトレーニングなど
	母子合計	53	1,790	
成人保健	歯と口に関すること	5	76	成人・障害者を対象とした健康学習と歯みがき指導
	保健に関すること	24	495	がんに関する学習会（がんの早期発見、早期治療、がん検診について周知・啓発）
	成人合計	29	571	
	区民のための健康教室	3	56	浅草医師会との共催の学習会（講演「健康の要 腎臓を守るために」など）
	合計	85	2,417	



#### (4) 健康総合相談

高齢化の急速な進展、少子化、疾病構造の変化等に伴い、区民の保健事業に対する要望も多様化、高度化している。これらに対応するために、区民に総合的な個別総合相談事業を保健サービスとして提供している。

##### ア 家庭訪問、相談実績

区 分	総合計	個別訪問 健康相談	所内面接・電話相談・ 文書連絡等	関係機関 連絡
総 数(延人員)	9,478	3,101	4,130	2,247
台 東	4,564	1,706	1,868	990
浅 草	4,914	1,395	2,262	1,257

※個別訪問健康相談・所内面接・電話相談・文書連絡・関係機関連絡は、  
P\_129のア. 家庭訪問等の件数の再掲

##### イ 保健師事例検討会・地域づくり懇談会

実施日	テ ー マ	講 師	参加者数
11月4日	MSMに対する H I V ・ A I D S 対策について	N P O 法人 akta 岩橋 恒太	19
12月18日	まつり報告会	聖路加国際大学教授 麻原 きよみ	74
2月5日	災害医療と トリアージ	山田英明下町クリニック 山田 英明	15
3月5日	H U G 研修会	練馬区なかま助産院 助産師 名嘉間 あけみ	13
3月16日	妊娠期～出産に おける妊産婦 支援について	(公財) ライフ・エクス テンション研究所付属 永寿総合病院 小林 さつき	13

(5) タバコ対策

喫煙率と将来的な喫煙者の減少により、区民のタバコ関連疾患罹患率と死亡率の減少を目指して、タバコに関する正しい知識の普及・啓発活動を実施している。

実施日	テーマ	内容	参加者数
5月26日 ～ 6月6日	禁煙週間 キャンペーン	喫煙のメカニズム、受動喫煙の健康影響、禁煙のメリットを展示と資料配布により啓発。 広報・ホームページによる周知。	1,114
2月9日	飲食店向け講演会 「経営から見た タバコ対策」	禁煙スタイル管理人による飲食店の禁煙・分煙はメリットかデメリットと題して講演を行った。	43
10月5日	下町こどもまつり 参加	子ども向けの喫煙防止啓発の実施と、保護者向けに受動喫煙、禁煙に関する情報提供。	184

実施日	内容	対象	合計参加者数
① 7月14日 ② 12月20日 ③ 2月6日 ④ 3月7日	喫煙防止教育 (講座)の実施	① 御徒町台東中学校 1年生 132名 ② 田原小学校 6年生 57名及び保護者 10名 ③ 浅草小学校 保護者等 29名 ④ 蔵前小学校 6年生 72名	生徒 261名 保護者 39名

### 3 母子保健

母子保健法及び児童福祉法等に基づき、妊産婦及び乳幼児への保健指導、健康診査、母子訪問指導等を実施している他、未熟児養育医療や妊娠高血圧症候群等の医療給付等各種事業を実施し、母性及び乳幼児の健康の保持、増進を図る。

#### (1) 妊娠の届出数と妊婦健康診査

##### ア 妊娠届

保健所、浅草保健相談センター、区役所（戸籍住民サービス課）、区民事務所（分室含む）で受理し、母子健康手帳と母と子の保健バッグを交付している。

区分	届出数	妊 娠 週 数				
		満11週以内	12～19週	20～27週	28週以上	不 詳
総 数	1,936	1,771	131	21	13	0
台 東	811	731	58	15	7	0
浅 草	1,125	1,040	73	6	6	0

##### イ 妊婦健康診査

##### (ア) 妊婦健康診査・妊婦超音波検査

妊娠届を提出した妊婦に対して、妊娠中の健康管理と流産・早産の防止、児の障害の予防を目的として、14回分の受診票を交付し、委託医療機関で受診する。1回目妊婦健康診査時に、HBs抗原検査を実施し、B型肝炎ウイルスの母子感染防止を図っている。

また、妊婦超音波検査受診票1回分を交付し、胎児の発育異常や胎盤の付着部位の異常等の検査を実施し、母体の健康管理を図っている。

受診数	内 訳		
	1回目	2～14回目（延数）	超音波検査
総 数	1,790	17,056	1,562
台 東	762	7,042	664
浅 草	1,023	9,062	856
※転出	5	952	42

※転出は、妊娠届出時台東区に居住していた妊婦が、都内他区市町村に転出した場合の受診。

※数値には、契約医療機関受診分の他、自由診療受診分を含む。

(イ) 里帰り出産等妊婦健康診査費助成

里帰り先や助産所での受診等、区が交付した妊婦健康診査受診票や超音波検査受診票を利用せずに自費で健診を受けた妊婦に健診費の助成を行う。

助成件数	内訳（延数）		
	1回目	2回目～14回目	超音波検査
350	37	1,926	59

(2) ハローベビー学級

妊娠・出産・育児等についての知識及び沐浴・抱き方等の技術の習得や仲間づくりを目的に、妊婦とその夫を対象として実施している。

区 分		平日学級	土曜学級	日曜学級
		2日制	2日制	1日制
総数	開催回数	4	6	9
	延受講者数	176	352	428
台東保健所	開催回数	2	3	2
	延受講者数	83	167	97
浅草保健相談センター	開催回数	2	3	3
	延受講者数	93	185	138
生涯学習センター	開催回数	—	—	4
	延受講者数	—	—	193

※平成26年度より日曜学級（1日制）を委託し、生涯学習センターを会場として追加した。

(3) 乳児健康診査

ア 3～4か月児健康診査

乳児に対する健康診査及びその保護者に適切な保健指導を実施し、乳児の健全な育成を図る。また、精密健診の必要のある者については、精密健診受診票を交付し、医療機関での早期受診を勧奨している。

実施内容：問診・身体測定・診察・個別保健指導・集団（保健、栄養）指導

(ア) 3～4か月児健康診査受診状況

区 分	対象者数 (通知発送数)	受診者数	有所見者 実数	個別相談
				保健
平成26年度	1,566	1,515	528	632
台 東	702	693	275	316
浅 草	864	822	253	316

(イ) 3～4か月児健康診査結果

受診者数	有所見者実数	有所見者延数	所見内訳 (延数)											
			発育	皮膚	頭頸部	顔面口腔	眼	耳鼻咽喉	胸部腹部	鼠径外陰部	背部	四肢	発達神経	その他
1,515	528	581	119	271	9	8	6	4	38	20	2	28	57	19
指示内容	精密健診	36	1	1	3	0	1	0	5	6	0	18	1	0
	受診(治療)勧奨	89	5	70	0	0	2	1	4	2	0	2	0	3
	他機関管理中	175	12	101	1	8	2	2	21	9	0	5	6	8
	経過観察	200	95	36	4	0	1	1	5	2	2	3	47	4
	一時的指導	81	6	63	1	0	0	0	3	1	0	0	3	4

イ 6か月・9か月児健康診査

乳児の発育状況、精神・運動発達の遅れ等精神面、身体面についての健康診査を、生後6～7か月児及び9～10か月の乳児に対し受診票を交付し、都内契約医療機関で実施している。(※都提出事業報告数と同じ)

(ア) 6か月児

区分	対象者数	受診者数	健診結果内訳 (実数)				保健所への連絡事項内訳 (再掲)			
			異常なし	異常あり	疑い	不明	医療機関で指導	保健所で指導	他機関管理中	その他
総数	1,566	1,369	1,328	19	22	0	315	4	22	2
台東	702	594	580	8	6	0	65	3	7	0
浅草	864	775	748	11	16	0	250	1	15	2

(イ) 9か月児

区分	対象者数	受診者数	健診結果内訳 (実数)				保健所への連絡事項内訳 (再掲)			
			異常なし	異常あり	疑い	不明	医療機関で指導	保健所で指導	他機関管理中	その他
総数	1,566	1,303	1,261	18	24	0	315	7	12	0
台東	702	536	516	11	9	0	65	4	4	0
浅草	864	767	745	7	15	0	250	3	8	0

(4) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児に対して身体面、精神発達面及び歯科保健状態の診査を実施し、その結果に基づいて適正な指導・相談を行い、幼児の健全な育成を図る。

なお、内科健診は区内医療機関に委託、歯科健診・心理発達・保健・栄養指導は保健所で実施している。

ア 医療機関委託（内科）

区分	交付数	受診者数	健診結果内訳（重複あり）						
			特になし	要指導	要経過観察	加療中	要治療	要精密	その他
総数	1,436	1,287	1,202	26	32	18	4	5	0
台東	596	525	487	12	15	7	2	2	0
浅草	840	762	715	14	17	11	2	3	0

イ 保健所実施

区分	対象者数	来所者数	歯科受診者数	個別相談			心理相談
				保健	栄養	歯科	
総数	1,436	1,256	1,252	103	332	961	262
台東	596	551	551	49	186	423	137
浅草	840	705	701	54	146	538	125

※心理相談は、経過観察含む。

ウ 1歳6か月児の心理相談

（実数） 受診者数 心理相談	相談項目総数	問題なし	精神発達の 問題	ことばの 問題	くせの 問題	行動性格の 問題	社会性の 問題	生活習慣の 問題	養育者の 問題	家庭環境の 問題	疾病障害の 疑い	その他	
													結果内訳
262	547	2	9	198	12	107	54	40	68	31	11	15	
結果内訳	要精密	26	0	2	9	0	6	3	0	3	1	1	1
	経過観察	300	0	6	111	5	47	36	22	38	22	8	5
	助言のみ	218	1	1	78	7	53	15	18	26	8	2	9
	特になし	3	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0

※経過観察を含む。

(5) 3歳児健康診査

3歳児に対して身体面及び精神発達面の診査・歯科健診を実施し、その結果に基づいて適正な指導及び措置を行うことにより幼児の健全な育成を図る。また、保健指導と心理相談も実施し、精密健診の必要があるものについては、精密健診受診票を交付している。

健診内容：問診・診察・身体測定・尿検査・歯科健診・歯科指導・栄養相談・保健指導・心理相談・視力検査・聴力検査

ア 3歳児健康診査

区分	対象者数	内科受診者	有所見者数	歯科受診者	個別相談			心理相談
					保健	栄養	歯科	
総数	1,240	1,162	194	1,160	303	90	912	276
台東	512	500	47	499	141	50	387	118
浅草	728	662	147	661	162	40	525	158

※心理相談は、経過観察含む。

イ 3歳児健康診査内科受診結果

受診者数	有所見者実数	有所見者延数	所見内訳 (延数)												尿蛋白陽性	
			発育	皮膚	頭面口腔	顔頸部	眼	耳鼻咽喉	胸部腹部	鼠径外陰部	背部四肢	運動	精神	言語		日常生活
1,162	194	214	13	46	3	24	3	23	22	7	1	15	27	10	20	1
指示内容	精密健診	31	2	0	0	16	2	3	3	3	0	1	0	0	1	0
	受診勧奨	12	2	2	0	1	0	1	0	2	0	1	0	0	3	0
	他機関管理中	96	4	29	3	7	1	17	5	2	1	5	11	2	9	1
	経過観察	33	2	6	0	0	0	0	7	0	0	5	8	4	1	0
	一時的指導	42	3	9	0	0	0	2	7	0	0	3	8	4	6	0

ウ 3歳児健康診査心理相談

	受心理相談者数 (実数)	相談項目総数 (延数)	問題なし	精神発達の問題	ことばの問題	くせの問題	行動性格の問題	社会性の問題	生活習慣の問題	養育者の問題	家庭環境の問題	疾病障害の疑い	その他
	276	800	2	36	161	21	183	69	80	102	54	66	26
結果内訳	要精密	66	0	7	9	2	7	8	1	7	5	20	0
	経過観察	216	0	14	51	1	44	24	16	22	19	19	6
	助言のみ	517	1	15	101	18	132	37	63	73	30	27	20
	特になし	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※経過観察を含む

(6) 母子訪問指導

ア 母子訪問指導

生後28日未満の新生児、妊産婦、乳幼児等を対象に保健師や訪問指導員（助産師）が家庭訪問し、病気の予防、発育、栄養、出産・育児等について適切な指導を行っている。

平成27年6月5日現在

区 分	総 数		訪問実施者内訳			
			保健師訪問分		指導員訪問分	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
妊 婦	12	16	12	16	0	0
産 婦	1,698	1,746	907	955	791	791
新生児（未熟児を除く）	186	200	104	118	82	82
（再掲）生後28日未満の者	186	200	104	118	82	82
未 熟 児	35	35	32	32	3	3
乳児（新生児・未熟児を除く）	1,520	1,661	814	955	706	706
幼 児	121	179	121	179	0	0
小 学 生 以 上	7	14	7	14	0	0

イ 乳児家庭全戸訪問

従来の母子保健法に基づき「新生児訪問」を実施していたが、児童福祉法改正により「乳児家庭全戸訪問事業」として位置づけられたため、平成23年度から出生届等で把握した全家庭を対象とした「乳児家庭全戸訪問」として実施。

保健師及び訪問指導員（助産師）が、概ね4か月を迎えるまでの乳児のいる全ての家庭を訪問し、母子の健康状態や養育環境を確認するとともに、地域の子育て情報を伝えることにより子育ての孤立化を防ぎ、虐待予防につなげている。

対象：平成26年4月1日～平成27年3月31日出生児

平成27年6月11日現在

区 分	対象者数	訪問実施済数						訪問未実施済数						
		1か月未満	2か月未満	3か月未満	3か月健診前	3か月健診後	合計	転出	長期里帰り	住民票と相異あり	訪問辞退	訪問調整中	その他	合計
全体	1,636	237	683	424	126	44	1,514	41	8	6	7	55	5	122
台東	726	109	309	186	55	13	672	22	4	2	3	19	4	54
浅草	910	128	374	238	71	31	842	19	4	4	4	36	1	68



## (7) すこやか育児相談

乳幼児の保護者を対象に、児のすこやかな育成のために、心身の発育・発達、保護者の育児不安等軽減のための相談指導および情報交換や親子の交流の機会を提供する。

### ア 所内相談

目的：育児中の保護者に対し、いつでも気軽に相談できる電話相談やきめ細やかに対応できる個別の面接、必要時の文書連絡や関係機関との連携を行い、保護者の不安・負担を軽減し児のすこやかな育成を図る。

#### 事業実績

面接相談	電話相談	文書連絡	関係機関連絡	合計
99	1,394	112	749	2,354

※訪問等合計数については P.129 ア. 家庭訪問等の件数の再掲

### イ 1～3 か月児の育児相談

目的：育児負担や保護者の精神的不安が最も大きな1～3 か月児の保護者に対し、早期に育児の相談に応じ同じ立場を共有できる仲間とのつながりを作り、負担や不安を軽減し育児能力の向上を図る。

実施内容：月1回ずつ、台東保健所・浅草保健相談センターにて、身長・体重測定、交流のためのグループワーク、育児に関する個別相談を実施（予約制）。

#### 事業実績

実施回数	延参加者数
24	350

### ウ 1歳6 か月児からの育児相談

目的：心身両面の発育発達において重要な時期である1歳6 か月から概ね3歳の児と保護者に対し、保護者の個別相談に応じながら集団遊びの場を設け、保護者の育児支援や発達遅延の早期発見・対応を行う。

実施内容：月1回ずつ、台東保健所・浅草保健相談センターにて、身長・体重測定、育児に関する個別相談、交流を促し発育を促進するための集団遊びを実施。

#### 事業実績

実施回数	延参加者数
24	669

エ 出張育児相談

目的：子育て中の保護者に対し、身近な地域でいつでも気軽に育児の相談に応じ、保護者同士の交流が図られ、育児負担や不安が軽減し安定した育児ができるよう支援する。

実施内容：区内6か所にて、身長・体重測定、育児に関する個別相談、各種ミニ講座、親子の交流を実施。

事業実績

実施回数	延相談者数
71	2,005

オ 子育て心理相談

目的：子育てや家族関係に悩む保護者を対象に、専門カウンセラーによる個別相談を行い、保護者の精神安定を図る。

実施内容：月1回ずつ、台東保健所・浅草保健相談センターにて個別相談を実施（予約制）。必要時、地区担当保健師による個別支援につなげる。

事業実績

実施回数	延相談者数
24	49

カ 育児ほっとタイム（育児心の悩み相談・MCG）

目的：子育てに自信がない、子どもがかわいくない等の心理状態や家族関係に悩む保護者を対象に専門グループワーカーによるグループカウンセリングを行い、保護者の精神的安定を図る。

実施内容：月1回、浅草保健相談センターにて匿名性のグループミーティングを実施（予約制）。必要時、個別心理相談の利用を勧めたり地区担当保健師による個別支援へつなげる。

事業実績

実施回数	延参加者数
12	29

キ 外国人親子への通訳派遣

目的：慣れない地域で孤立しがちな外国人の保護者に対し、情報提供や円滑なコミュニケーションを行う。

事業内容：NPOの協力を得て通訳を派遣し個別相談・支援を実施。

事業実績：通訳派遣 4／年

ク あさくさ おやこるーむ

目的：プレイルームを開放し、乳幼児への安全な遊び場の提供と、乳幼児を育てている保護者の交流を図る。

事業内容：週 2 回（水・金）、浅草保健相談センター1階プレイルームを0～3歳児の親子に開放する。また同時に絵本や保護者向けの図書の貸し出しも実施している。

事業実績

延利用者数	図書貸出し数
913	42

## (8) 発達相談

目的：①発達の遅れ、障害のある児を早期発見し、必要時に専門療育機関を紹介する。

②保護者の不安軽減、受容、親子の愛着形成等の効果を得る。

事業内容：育児相談・乳幼児健診の結果や保護者からの相談等により、精神・運動・言語等に遅れや障害が疑われる児に対し、小児神経科医師の診察、作業療法士による遊びを交えた訓練指導、心理相談員による個別指導、言語療法士による個別・集団指導を毎月実施する。

事業実績

区分	医師診察	訓練指導	心理相談	言語相談	集団指導	計
実人員	54	21	43	71	31	220
延相談件数	69	30	49	85	137	370

## (9) 母子関係医療費公費負担

台東区では、母子保健上一定の疾病に罹患し入院等による治療にかかる高額な医療費に対し給付を行っている。

### ア 養育医療給付

未熟児は機能が未熟であり、疾病にかかりやすく、その死亡率はきわめて高い。医師が入院養育が必要と認めた未熟児に対し入院医療に要する費用の給付を行う。

### イ 妊娠高血圧症候群等

妊娠により入院医療を必要とする妊娠高血圧症候群等・糖尿病・貧血・産科出血及び心疾患に係る医療に関する給付について、各種医療保険等を適用し、その自己負担額（入院時の食事療養標準負担額を除く）を助成する。

### ウ 自立支援医療（育成医療）給付

満18歳未満の方で、身体障害、心臓障害、肝臓障害、その他内臓障害のため指定医療機関において、入院及び通院による医療費の給付を行う。

### エ 療育給付

児童福祉法第20条の規定により、骨関節結核及びその他の結核にかかっている18歳未満の方で、指定療育機関での入院に要する費用の給付を行う。また、その他、療育生活に必要な日用品と学校教育を受けさせるために必要な学用品の給付を行う。

給付区分	対象となるもの	申請件数	延給付件数
養育医療	未熟児	30	95
妊娠高血圧症候群等	妊娠高血圧症候群等	4	4
自立支援医療（育成医療）	発音・聴覚・歩行障害・先天性内臓疾患	22※	43※
療育医療	結核・骨関節結核	0	0

※平成26年度は、補装具の支給1件を含む。

オ 小児慢性特定疾病（実施主体：東京都）：経由事務

小児慢性特定疾病に罹患している満18歳未満の方で、認定疾患に係る医療費について、各種医療保険等を適用し、その自己負担額を助成する。

また、小児慢性特定疾病医療費助成の認定を受け、在宅で日常生活を営む上で支障がある方に、必要な日常生活用具を給付する。（実施主体：区）

小児慢性特定疾病児日常生活用具給付：0件

小児慢性特定疾病の助成対象となる疾病等

区 分	申請件数	区 分	申請件数
慢性心疾患	37	慢性血液疾患	6
膠原病	4	悪性新生物（がん）	16
慢性腎疾患	10	慢性呼吸器疾患	2
内分泌疾患	22	神経・筋疾患	7
糖尿病	14	慢性消化器疾患	2
先天性代謝異常	10		

## （10）特定不妊治療費助成

特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）にかかる経済的負担を軽減する目的で、平成24年度より助成を開始した。

対象：「東京都特定不妊治療費助成事業」の承認決定を受けている区民

助成額：治療1回につき、都助成額を差し引いた額のうち50,000円上限

助成回数

① 平成26年3月まで

初年度3回、次年度以降は2回まで、通算5年度で計10回まで

② 平成26年4月から

39歳までの新規の申請者は、通算6回まで（助成期間の制限なし）

それ以外の方は変更なし。

事業実績

年 度	24	25	26
申請件数（件）	81	195	212
助成件数（件）	81	194	212

## 4 女性のトータルヘルスサポート

女性は特有の身体的特徴を有することにより、生涯のライフステージごとにさまざまな健康課題に直面する。これらに対し、適切に自分の健康管理を主体的に行うことができるよう生涯にわたる健康づくりを支援する。

### (1) 女性のための健康相談

目的：女性特有の心身の問題について、女性の婦人科医が相談に応じ、健康の保持・増進を図る。

事業実績

相談内容	相談日	定員	相談者数	実施回数
婦人科	第2水曜日	4名	35人	12回

相談内容（重複あり）

婦人科関係	産科関係	内科関係	その他
42	13	3	1

### (2) 子育てママの健康診断

目的：健康診断を受ける機会が少ない子育て中の母親を対象に、保育付きの健康診断を行うことにより、疾病の予防・早期発見を図る。また、保健師等による相談・指導を行うことにより、自分自身・家族に対する健康管理の意識の向上と良好な生活習慣の確立を図る。

実施内容：計測（身長・体重・血圧・体組成）、尿検査、骨密度測定、内科診察、保健師・栄養士・歯科衛生士による健康のアドバイス

実施回数：6回、1回2日制・定員各回35名

事業実績

申込者数	受診者数 (実人員)	延保育数	健診結果		
			異常なし	要指導	要精密検査
201	172	231	48	113	11

### (3) 乳がん自己検診法の普及

目的：乳がんは、平成26年度現在、日本人女性の12人に1人がかかる罹患率の高いがんであり、唯一自分で触って発見できるがんである。そのため、乳がんの正しい知識と自己検診法を普及することにより、乳がんの予防と早期発見を図る。また、10月のピンクリボンキャンペーン（乳がん月間）活動を実施し、広く乳がんについての啓発事業を行なった。

## 事業実績

### ア 乳がんの自己検診法講演会

女性の健康講座の機会に、積極的に乳がんの啓発を実施した。

実施回数	講師	対象者	参加人数	会場
6回	台東保健所保健師	子育てママの健康診断受診者(2日目)	153名	台東保健所
1回	台東保健所保健師	石浜小学校バザー参加者	45名	石浜小学校
6回	台東保健所保健師	出張育児相談来所者	180名	各育児相談会場
7回	台東保健所保健師 健康推進委員	地域行事参加者	570名	各地域行事会場
3回	台東保健所保健師	乳がん検診受診者	102名	台東保健所
3回	台東保健所保健師	児童館幼児タイム参加者	49名	区内児童館
1回	台東保健所保健師	健康推進委員 地区連絡会	8名	谷中区民館

合計 27回 1,107名

### イ 乳がん自己検診法リーフレット配布

配布枚数：1,500枚

配布先：子育てママの健康診断結果説明、乳がん月間、女性の健康講座、窓口にて配布。

### ウ ピンクリボンキャンペーンの実施（乳がん月間：10月）

#### 実施内容

- ・区内循環バスめぐりん全17台に乳がん予防の啓発エンブレムを装着、車内にてポスター掲示。
- ・各所にて展示 パネル、ポスター、乳がんモデル、リーフレット、パンフレットの配布。乳がんへの関心を高めるため、乳がんの実態クイズや乳がんになった方の声をパネルにして展示。
- ・各育児相談(6ヶ所)、乳がん検診会場(3ヶ所)、健康教育実施、自己検診法リーフレット等配布

#### 会場と時期

台東保健所 10月1日(火)～10月31日(金)

浅草保健相談センター 10月1日(火)～10月31日(木)

台東区役所 10月1日(火)～10月17日(金)

生涯学習センター 10月1日(火)～10月31日(金)

広報での啓発

平成26年10月5日号に掲載

(4) 女性の健康出張講座

目的: ライフサイクルの中で、女性特有の身体の変化等について正確な知識を提供することにより、その状態に応じた自己管理能力の向上と健康不安の軽減を図る。

事業実績

	テーマ	対象	講師	日時	形式	会場	人数
1	女性の健康について (やせ・がん)	児童館 幼児タイム 参加者	台東保健所 保健師	依頼に応じて随時	講義 体験	区内児童館 7回	101
2	女性の健康について (やせ・がん)	健康推進委員	台東保健所 保健師	依頼に応じて随時	講義 体験	健康学習会 実施時 3回	99
3	女性の健康について (やせ・がん)	石浜小学校 バザー参加者	台東保健所 保健師	10月14日	講義 体験	石浜小学校 保健室 1回	45

計11回245名

## 5 保健指導

### (1) 保健師の活動

保健師の活動の対象は個人・家族、疾病の有無にとどまらず、集団・地域も対象としている。健康な生活を送るため、個々の区民へ働きかけるだけでなく、地域全体へ働きかけ、地域の力を高めることにより、健康な地域をつくることを目指している。そのために、「ひとりひとりが主体的に健康づくりに取り組むことができるようになる＝（自助）」「個人や地域が一体となって支えあい、地域の健康問題を実践しながら解決する力を持てるようになる＝（共助）」を区民の方々が地域の中で実践できるように働きかけている。

また、「自助の活動」を「地域を対象とした活動」へひろげ、「その活動を区全体のシステムやサービスに活かし、計画づくり等に反映させる取り組み＝（公助）」を行っている。

#### ア 自助の活動

保健師は、区民が自分の健康を知り維持向上させる行動ができるように支援をしている。主な活動は、各地域の担当保健師として個々の区民に対して行う家庭訪問や面接・電話相談等の個別援助活動と、必要な対象者別に行う健康学習や各種相談事業である。特に、社会的に支援の必要な精神障害者や育児不安の強い保護者に対して、関係機関と連携しながら当事者の力を引出し、問題解決を図れるように援助している。また、健康学習は保健師が主催して行うものだけでなく、地域のグループ（幼稚園、学校、町会、老人クラブ等）から依頼を受けて行うこともある。

#### (ア) 個別援助活動

##### a 家庭訪問、所内相談、電話相談、文書等連絡、関係機関連絡

区民からの相談を随時受けている。継続相談や他機関との連携を行うなど、相談者に対して総合的なマネジメントを実施している。

区分	総数	感染症・エイズ	結核予防	精神保健福祉	心身障害	長期療養児	成人（生活習慣病等）	その他疾病（難病等）	妊産婦	乳児	幼児	その他	
													総数
家庭訪問	総数	3,761	18	540	779	8	4	52	28	1,031	1,105	179	17
	台東	2,366	18	540	491	5	3	4	3	565	625	107	5
	浅草	1,395	0	0	288	3	1	48	25	466	480	72	12

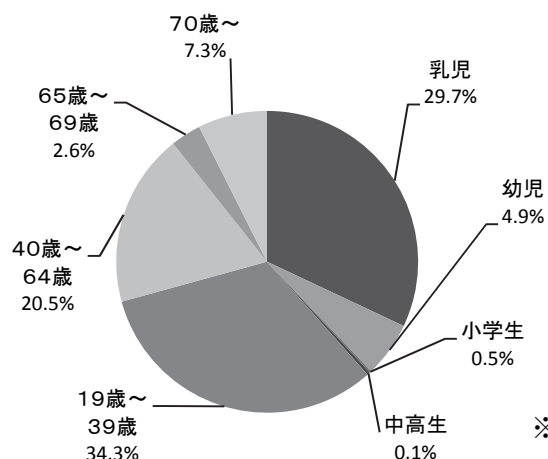


所内相談	総数	1,597	307	454	639	3	3	20	72	36	42	20	1
	台東	1,179	307	454	286	0	3	14	71	13	22	9	0
	浅草	418	0	0	353	3	0	6	1	23	20	11	1
電話相談	総数	3,882	409	190	2,035	2	0	21	9	543	582	81	10
	台東	2,133	409	190	997	2	0	14	7	187	282	40	5
	浅草	1,749	0	0	1,038	0	0	7	2	356	300	41	5
文書等連絡	総数	4,504	72	4,218	111	0	0	0	0	21	15	67	0
	台東	4,409	72	4,218	92	0	0	0	0	8	10	9	0
	浅草	95	0	0	19	0	0	0	0	13	5	58	0
関係機関連絡	総数	2,983	206	399	1,596	14	3	7	10	227	241	178	102
	台東	1,726	206	399	808	11	3	4	0	73	114	102	6
	浅草	1,257	0	0	788	3	0	3	10	154	127	76	96

b 年齢別家庭訪問数

	総数	感染症・エイズ	結核予防	精神保健福祉	心身障害	長期療養児	成人（生活習慣病等）	その他疾病（難病等）	妊産婦	乳児	幼児	その他
乳児	1,116	3	0	0	3	3		2		1,105		0
幼児	185	3	0	0	2	1		0			179	0
小学生	19	3	0	0	2	0		0				14
中高生	5	0	0	4	0	0		0	1			0
19歳～39歳	1,291	3	79	238	0		9	7	954			1
40歳～64歳	772	4	180	494	0		10	10	74			0
65歳～69歳	99	2	66	21	0		5	3	2			0
70歳～	274	0	215	22	1		28	6	0			2

年齢別訪問者数(%)



年齢別訪問者数では、19～39歳が34.3%と多く、ついで乳児が29.7%、40歳～64歳が20.5%となっている。

※円グラフの割合は、小数点第2位を四捨五入したため、合計は100%にならない。

(イ) 各種相談事業

相談日を設定し、各種の相談（育児相談・子育て心理相談・こころの健康相談・女性のための健康相談）を実施している。

イ 共助の活動

保健師は、共通のニーズをもった区民のグループづくりやそれらの自主的な取り組みをサポートしている。そして、これら地域の社会資源をつなぎ合わせネットワークを構築することで、地域全体の健康づくりへと広げている。

(ア) 具体的な援助

a 健康づくり啓発推進(健康推進委員活動)

健康推進委員は、各地区町会連合会単位のある11地区ごとに、地域の特性を活かした健康づくり活動を行っている。保健師は、それぞれ各地区を担当し健康推進委員が行う地区連絡会の開催、健康学習会の企画・実施、地域行事への参加等、地区単位の活動を支援している。また、これらの健康づくりが区全体の動きとなるよう、11地区合同の交流会やリーダー会も支援している。(実績等は、P112を参照)

b いきいき若返りまつり

概ね65歳以上の高齢者および介護予防に関心のある区民への共助の力を伸ばす働きかけを行うことによって、介護予防に関して地域全体が関心を持ち合える地域づくりを目指すきっかけとして介護予防イベント「いきいき若返りまつり」と「地域座談会」を実施している。(実績等は、P134を参照)

c ころばぬ先の健康体操サポーター養成

高齢者の健康づくり教室等で実施している「ころばぬ先の健康体操」を、区民の力で区内全域に広めるため、その推進役となるサポーターを養成し活動をしている。体操の良さと必要性、教室の案内や誘い出し等の広報活動や、地域のグループに対し体操指導を行っている。また、保健所が企画する教室

へ実行委員として参画している。(実績等は、P 1 3 4を参照)

d ふれあい介護予防教室

地域の高齢者の閉じこもり予防と介護予防の情報提供の場として、地域包括支援センターと保健所が共催で実施している。高齢者だけでなく、ころばぬ先の健康体操サポーターの参加等、地域の力で高齢者の閉じこもりを予防し、高齢者を支える拠点づくりを目指している。(実績等は、P 1 3 3を参照)

e いきいき自主活動支援

地域住民による高齢者のための健康づくり・交流の機会を提供する自主活動グループの支援を目的として平成16年度から実施している。社会との関わりを持つことは認知症や閉じこもり等を防止する意味からも大切になってくる。保健師は、活動団体の支援のほか地域資源の発掘・新たに活動しようとしている団体に対しても積極的な支援を行っている。

※支援対象団体には①助成対象団体（1年間のみ助成金の交付を受ける団体）と②登録対象団体（支援リストに登録され、活動のPR・会員増加・運営面の相談・支援等を保健所から受ける団体）がある。(実績等は、P 1 3 5を参照)

f プレイルーム運営（あさくさ おやかろーむ）

親子が自由に遊び、子育て中の保護者同士が交流できるよう場所の提供や子供文庫を設置し、絵本や保護者向けの図書の貸し出しをしている。また子育てに関する区内の最新情報を提供し、集う場を提供して育児グループづくりを支援している。(実績等は、P 1 2 3を参照)

g 育児ほっとタイム（育児心の悩み相談・MCG）

子育てに自信がない、子どもがかわいく思えない等の心理状態や家族関係に悩む保護者の精神的安定を目指して匿名性のグループミーティングを行っている。グループ以外のフォローが必要な保護者については、個別心理相談の利用を勧めたり、地区担当保健師による個別支援をしている。(実績等P 1 2 3を参照)

ウ 公助の活動

保健師は、自助・共助でつかんだ区民の意見を基盤整備やサービスを作るときの参考になるように、各種計画づくり会議等に参画し、自助や共助を推進していきけるよう活動している。

## 6 介護予防事業

### (1) 高齢者の健康づくり事業

在宅の高齢者が、寝たきりなどの要介護状態に陥らないように各種事業を実施している。事業内容は、高齢者が元気で過ごすことができるよう、生活や食事、転倒予防・口腔機能向上等の知識普及等を行っている。

#### ア 高齢者の健康づくり教室

高齢者の健康づくりに必要な知識を普及するための教室を実施した。

(知識編・運動編・尿失禁予防・栄養, 口腔機能向上)

内 容		日 数	参加人員
運動編	ころばぬ先の元気塾 (2 日制)	2 日	322 名
尿失禁	尿もれお悩み解決教室 (1 日制 7 ヶ所)	7 日	164 名
栄養改善 (二次予防事業対象者)		10 日	10 名
口腔機能向上 (二次予防事業対象者)		6 日	29 名
知識編	保健師研修会	2 日	23 名
合 計		27 日	548 名

#### イ ふれあい介護予防教室

身近な地域の中で、健康づくりを広めることや閉じこもり予防を目的とし、区内の各地域包括支援センターと共に教室を実施した。平成 23 年度より地域包括支援センターが 1 ヶ所増え、全 7 ヶ所で実施している。

実 施 場 所	日 数	参加人員
あさくさ地域包括支援センター	11 日	160 名
やなか地域包括支援センター	11 日	87 名
みのわ地域包括支援センター	11 日	239 名
くらまえ地域包括支援センター	11 日	137 名
まつがや地域包括支援センター	11 日	161 名
たいとう地域包括支援センター	11 日	149 名
ほうらい地域包括支援センター	11 日	69 名
合 計	77 日	1,002 名

ウ 地域からの依頼による高齢者健康教室

地域からの依頼により、介護予防に必要な知識を普及するための教室を実施した。

内 容	日数	参加人員
保健師による健康教室 (介護予防に関する講座と体操・熱中症予防・インフルエンザ予防など)	14日	385人

(2) 高齢者の健康な地域づくり支援事業

ア 介護予防イベント

地域全体が関心を持ち合える地域づくりを目指し、地域包括支援センター単位で、介護予防に関するイベントを実施した。

内 容	日 数	参加人員
介護予防イベント「いきいき若返りまつり」	7日	1,525人
地域座談会(参加団体数:72団体)	48日	809人
合 計	55日	2,334人

イ ころばぬ先の健康体操サポーター養成・サポーター活動

高齢者の体力の向上、特に転倒予防につながる下肢筋力の向上を目的とした「ころばぬ先の健康体操」を区内に広げるためのサポーターを養成し、活動をおこなった。

(ア) サポーター活動実績

サポーター登録者数:33名

活動内容	派遣人数	指導人数	従事回数
保健所主催事業	373人	1,599人	93回
自主活動	540人	4,416人	243回
地域等からの依頼	157人	1,700人	124回
その他(登録証交付式)	22人		1回
合 計	1,092人	7,715人	461回

(イ) サポーター養成カリキュラム実績

内 容	回数	参加人数
(教室見学) ふれあい介護予防教室	4回	6人
(教室見学) 自主グループ	4回	6人
(教室見学) 専門講師の教室	2回	6人
養成講座	2回	6人
登録者講座	3回	70人
説明会	1回	4人
合計	16回	98人

(3) いきいき自主活動支援

地域で介護予防に資する活動に取り組む自主グループを育成、支援することについて必要な事項を定めることにより、区民の自主的な介護予防の取り組みを促進し、共助のまちづくりを推進するための支援を行っている。「地域ミニデイ」という事業名が平成18年度より、「いきいき自主活動支援」事業と名称変更した。

登録団体 38団体うち助成金交付団体 6団体

	名 称	会員数	活動頻度	事業内容
1	上野の森太極拳ニイハオ会	35人	毎日	太極拳
2	東洋学の会	13人	4回/月(木)	太極拳
3	踊れるよフラメンコの会	9人	2回/月(第1・3水)	フラメンコ
4	いきいきサークル	19人	2回/月(不定期)	転倒予防体操
5	アクアウォーキングパラダイス	60人	4回/月(水)	ウォーターエクササイズ
6	ウクレレ同好会	9人	2回/月(第1・3火)	ウクレレ

(4) いきいきハロー教室 (一般高齢者施策)

家に閉じこもりがちな高齢者に対し、軽い体操、音楽療法、工作等のプログラムを実施する教室を開催し、運動機能の向上や外出促進を図り、身体的機能の低下や閉じこもりを予防する。

教 室 名	実施回数	延参加人数
いきいきハロー教室	96回	1,246人

## 7 栄養指導

平成17年に「食育基本法」が施行され、それぞれの年代にあった食育がすすめられている。しかし、「平成25年東京都民の健康・栄養状況」によると、成人男性の31.2%、女性の17.1%が肥満である。糖尿病や高血圧症、脂質異常症等の生活習慣病を予防することは、区民の健康保持増進に不可欠であり、それには子どものころからの食生活改善が大切である。そこで、関係機関と連携をしながら、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを組み合わせた効果的な指導体制を構築するよう努めている。

### (1) 母子栄養指導

#### ア 妊産婦

妊娠中の食生活は、胎児や母体にも大きな影響を及ぼすと同時に、健康な家庭生活を築いていく上で基本となる。そこで、ハローベビー学級で、妊婦の食生活の改善指導を実施している。

事業名	個別指導（人）	集団指導	
		回数	人数
ハローベビー学級など	15	10	250

#### イ 乳幼児・学童

少食・偏食・体重増加不良など、乳幼児の食生活に関する悩みを持つ母親は多く、相談も増加傾向にある。

そこで、3～4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診などの定期健診時に集団指導や個別相談を実施すると共に、離乳食講習会や幼児食講習会、親子クッキングなどの乳幼児対象の講習会、育児相談、地域の育児サークルからの依頼等で、食生活に関して助言・指導をしている。

事業名	個別指導（人）	集団指導	
		回数	人数
乳幼児健診	501	48	1,516
乳幼児向け講習会	—	26	481
電話・来所相談育児相談など	1,291	—	—
合計	1,792	74	1,997

## (2) 成人栄養指導

食生活や運動などの生活習慣を改善することで、生活習慣病の予防につながるため、健康保持増進・疾病予防における正しい知識の提供と実践方法について、各種講習会を実施している。

また、高齢者の健康づくりとして低栄養予防に関する講習会や個別栄養相談を利用した介護予防プログラム（低栄養）を実施している。

保健所主催で実施するものだけでなく、自主活動グループ、町会等からの依頼による講習会等も行なっている。

また、地域の医療機関からの紹介や区民健診、総合健康診査等の健診結果に基づき、個別栄養相談を実施している。

事業名	個別指導(人)	集団指導	
		回数	人数
個別栄養相談	102	—	—
成人向け講習会	—	42	935
電話・来所相談など	755	—	—
合計	857	42	935
(再掲) 介護予防	10	11	183

## (3) 地域活動栄養士会

地域の食育活動の担い手として活動できる在宅栄養士等を育成し、地域のニーズに合った食育活動を推進している。

平成25年7月に12名で発足し、定例会と見学会などの活動を実施している。

活動回数：14回 延46人

活動内容：災害時のレシピ集作成、介護食について

## (4) 特定給食施設指導

健康増進法に基づき定められた特定給食施設において、喫食者に栄養効果の十分な給食が提供できるよう、栄養士・調理師等給食従事者に対し、栄養や食品衛生に関する知識と技術の向上を図っている。また、26年度から栄養管理報告書の様式が改定となり、事業所や保育所に対し、肥満とやせの数値による評価が加えられた。



ア 特定給食施設数

	総数	特定給食施設	その他の施設
学 校	28	28	0
病 院	10	6	4
介護老人保健施設	2	2	0
老人福祉施設	8	2	6
児童福祉施設	22	9	13
社会福祉施設	2	1	1
事業所	25	12	13
寄宿舍	0	0	0
矯正施設	0	0	0
自衛隊	0	0	0
一般給食センター	1	1	0
その他	20	4	16
合 計	118	65	53

イ 指導件数（延数）

栄養管理について個々の施設の状況に合わせ個別指導を行うとともに、講習会等の集団指導を実施している。

区 分		施設数
栄養管理指導	個別指導	212
	集団指導	139

ウ 電子メールによる栄養情報配信

給食施設に対し、栄養管理や衛生に関する情報を迅速に提供するために、電子メールで定期的に配信している。

配信施設数	53施設
配信回数	23回／年

エ 栄養管理講習会・研修会

健康増進法に基づき、特定給食施設及びその他の給食施設の栄養士や給食従事者に対して、食品衛生や栄養管理に関する講習会を実施し、食中毒予防や施設の適切な栄養管理に役立てるものである。

開催日時	講演内容	講師
5月14日	「感染性胃腸炎と食中毒」	台東保健所 食品衛生監視員
7月10日	児童福祉施設の栄養士向け研修会 「乳幼児の口腔内の発達と食事の関係」	歯科衛生士 矢作 万香美
8月29日	病院・高齢者施設等研修会 「食事形態について」	台東保健所 管理栄養士
12月19日	「食事摂取基準2015」	千葉県立保健医療大学 健康科学部栄養学科 渡邊 智子

#### (5) 栄養表示基準に関する指導

健康増進法第31条及び32条の2に基づき、加工食品における栄養表示について、事業者からの相談業務を行っている。また、各都道府県が実施する試売調査結果に基づき、不適正表示の相談にも応じている。なお、健康増進法・食品衛生法・JAS法を一元化した「食品表示法」が平成25年6月に公布された。

相談延件数：54件

#### (6) 国民健康・栄養調査

この調査は、厚生労働省が健康増進法に基づき国民の食物摂取、栄養素等摂取状況等の実態を把握すると同時に、栄養と健康との関連を明らかにし、広く健康増進対策等に必要な基礎資料を得ることを目的に実施するものである。内容は、身体状況、栄養摂取状況、生活習慣状況からなる。

平成26年度の調査地区 台東区千束3-3

対象世帯数 23世帯 49人

	栄養摂取状況	身体状況（血液）	歩数	生活習慣状況
実績	4世帯	4世帯7人（6人）	7人	7世帯11人

## 8 歯科保健

歯と口の健康を維持することは、単に食物を咀嚼するというだけでなく、食事や会話を楽しむ等、豊かな人生を送るための基礎となるものである。

歯の喪失は、食生活や社会生活に支障を来し、ひいては全身の健康にも影響を与える。

また、歯周病とタバコ・糖尿病・全身疾患との関係も注目されている。

そこで、乳幼児から高齢者まで、生涯にわたる「歯と口腔の健康づくり」をすすめるため、次のような歯科保健事業を実施している。

母子歯科保健	成人・高齢者・ 障害者歯科保健	普及啓発・相談
ハローベビー学級 妊産婦歯科健診 1歳6か月児・2歳児・3歳児歯科 健診 歯科衛生相談	歯科衛生相談 歯科基本健診	健康学習 高齢者の健康づくり 歯と口の健康週間行事 8020達成者表彰 まちかど健康まつり

### (1) 母子歯科保健

#### ア 妊産婦

妊産婦は、むし歯や歯周病等になり患しやすいので、歯の衛生には特に注意が必要である。そこで、ハローベビー学級で「妊娠中の歯の健康と赤ちゃんの歯」についての講義を実施している。

また、ハローベビー学級受講者及び希望する妊産婦に対し、歯科健診と歯科保健指導を実施している。

#### 妊産婦歯科健康診査

区分	実施回数	妊産婦 受診者数	妊 婦		産 婦	
			実施回数	受診者数	実施回数	受診者数
総数	22	371	12	200	10	171
台東	11	185	6	104	5	81
浅草	11	186	6	96	5	90

#### 歯科健診結果

区分	受診者数	むし歯の ある者	むし歯の ない者	処置 完了者	未処置歯 のある者	歯周病の ある者
妊婦	200	195	5	122	73	106
産婦	171	166	5	115	51	73

イ 乳幼児

(ア) 1歳6か月児歯科健康診査

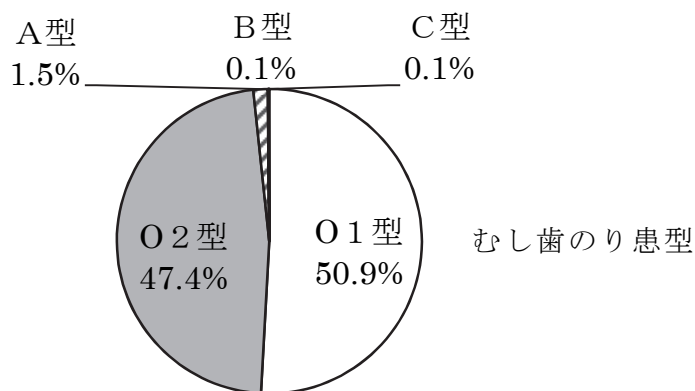
1歳6か月児健康診査の一環として歯科健康診査と歯科保健指導を実施している。

(単位：人)

区分	対象者数	実施人員	受診率 (%)	むし歯のない者			むし歯のある者					処置歯のある者	鍍銀歯のある者
				O1型	O2型	総数	A型	B型	C型	総数	%		
総数	1,436	1,252	87.2	637	594	1,231	19	1	1	21	1.7	3	0
台東	596	551	92.4	278	264	542	8	1	0	9	1.6	1	0
浅草	840	701	83.5	359	330	689	11	0	1	12	1.7	2	0

(単位：歯)

区分	その他異常のある者			現在歯数	むし歯の総数	1人平均むし歯数	処置歯の総数	鍍銀歯の総数
	不正咬合	口腔軟組織疾患	その他					
総数	146	62	71	18,305	46	0.03	4	0
台東	69	27	33	8,076	21	0.03	2	0
浅草	77	35	38	10,229	25	0.03	2	0



(イ) 2歳児歯科健康診査

希望者に対し、歯科健康診査と歯科保健指導を実施している。

区分	実施人員	むし歯のない者			むし歯のある者			
		O1型	O2型	総数	A型	B型	C型	総数
総数	235	159	70	229	4	1	1	6
台東	128	91	32	123	3	1	1	5
浅草	107	68	38	106	1	0	0	1

(ウ) 3歳児歯科健康診査

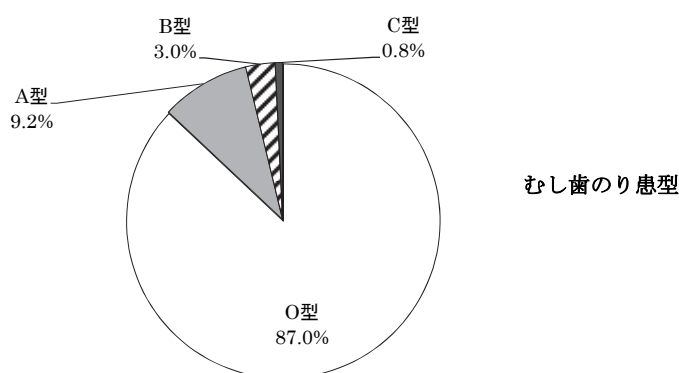
3歳児健康診査の一環として歯科健康診査と歯科保健指導を実施している。

(単位：人)

区分	対象者数	実施人員	受診率 (%)	むし歯のない者	むし歯のある者					処置歯のある者	鍍銀歯のある者
					A型	B型	C型	総数	%		
総数	1,240	1,160	93.5	1,009	107	35	9	151	13.0	36	12
台東	512	499	97.5	427	54	16	2	72	14.4	19	6
浅草	728	661	90.8	582	53	19	7	79	12.0	17	6

(単位：歯)

区分	その他異常のある者			現在歯数	むし歯の総数	1人平均むし歯数	処置歯の総数	鍍銀歯の総数
	不正咬合	口腔軟組織	その他					
総数	188	32	80	22,939	487	0.42	100	41
台東	79	6	37	9,869	213	0.42	58	18
浅草	109	26	43	13,070	274	0.41	42	23



注 (ア)～(ウ)の用語説明

- 0型 むし歯がない者
- 01型 むし歯がなく、かつ口腔環境がよいと認められる者
- 02型 むし歯はないが、口腔環境が良好でなく、近い将来においてむし歯り患の不安のある者
- A型 上の前歯のみ、または奥歯のみにむし歯のある者
- B型 上の前歯と奥歯にむし歯のある者
- C型 下の前歯やその他にむし歯のある者
- 鍍銀歯 フッ化ジアンミン銀塗布歯

(エ) その他

8か月児の保護者に対し、「赤ちゃんの歯とお口の健康情報」を送付し、初めての歯みがきのポイントや教室案内を行い、普及啓発に努めている。

また、歯科衛生相談で歯科健診・相談・歯みがき指導等を実施している。

(2) 歯科衛生相談

生涯を通じた歯と口腔の健康づくりをめざして、乳幼児から高齢者までを対象に、歯科衛生相談日を設け、歯科健康診査、保健指導、歯の健康教室及び予防処置を実施している。

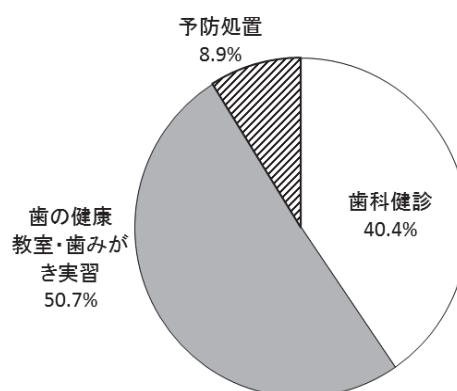
ア 歯科健康診査及び保健指導

区分	受診者 総数	妊産婦	乳幼児	その他						開設 回数
				40歳未満		40歳以上		計		
総数	総数	676 (39)	39	571	53 (30)	13 (9)	66 (39)	49 (3)		
	初診	307 (3)	39	239	25 (3)	4 (0)	29 (3)			
	再来	369 (36)	0	332	28 (27)	9 (9)	37 (36)			
台東	総数	386 (30)	21	316	39 (22)	10 (8)	49 (30)	25 (2)		
	初診	176 (3)	21	133	20 (3)	2 (0)	22 (3)			
	再来	210 (27)	0	183	19 (19)	8 (8)	27 (27)			
浅草	総数	290 (9)	18	255	14 (8)	3 (1)	17 (9)	24 (1)		
	初診	131 (0)	18	106	5 (0)	2 (0)	7 (0)			
	再来	159 (9)	0	149	9 (8)	1 (1)	10 (9)			

( ) 障害者を再掲

イ 歯の健康教室・歯みがき実習

区分	受講者数	開設回数
総数	847	124
台東	427	71
浅草	420	53



ウ 予防処置(4歳未満の希望者)

区分	実施数	フッ素塗布		鍍銀		歯口 清掃	歯石 除去	開設 回数
		件	歯	件	歯			
総数	149	148	2,753	-	-	-	1	50
台東	78	77	1,431	-	-	-	1	27
浅草	71	71	1,322	-	-	-	-	23

### (3) 普及啓発

#### ア 健康学習、健康相談

歯と口腔の健康を保つための健康学習会や健康相談等を実施し、好ましい生活習慣が実践できるよう、普及啓発を図っている。

区 分	実施総数	母子	成人・高齢者・障害者
個別相談	117	85	32
健康学習	1,376	1,155	221
高齢者の健康づくり (口腔機能向上)	239		239

#### イ 歯と口の健康週間行事

区内2歯科医師会に委託して「歯の無料健康相談」を2会場で実施している。

区 分	総 数	台東区歯科医師会館	浅草公会堂
参加人数	462	171	291

#### ウ 8020達成者表彰

区 分	表彰者数	認定者数
人 数	54	44

#### \*用語説明

8020 達成者：80 歳以上で自分の歯が 20 本以上ある健康な者

表彰者：審査の結果、26 年度に初めて 8020 達成者として表彰された者

認定者：過年度において 8020 達成者として表彰されており、審査の結果、26 年度も自分の歯が 20 本以上あると認められた者

### (4) 成人歯科保健

#### ア 歯科基本健康診査

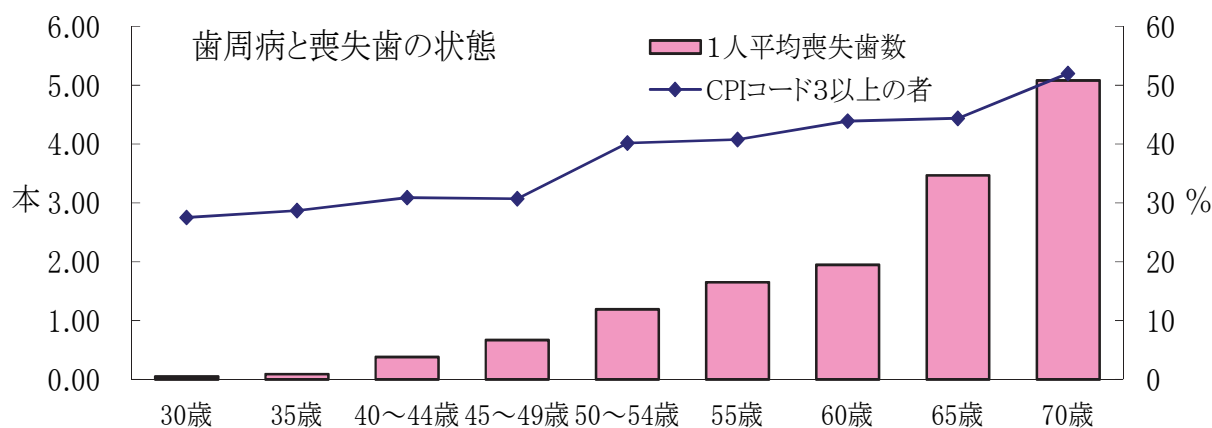
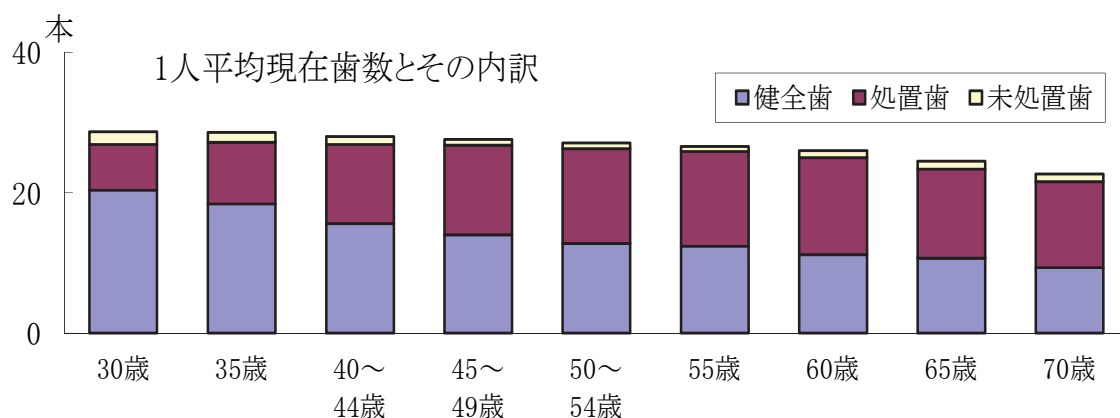
歯の喪失を予防し、高齢期における健康を維持するため、区内2歯科医師会に委託して歯科基本健康診査を実施している。

年度 区分	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6
対象者(人)	52,068	52,442	57,101	59,226	64,563
受診者(人)	4,571	4,821	5,319	5,125	5,757
受診率(%)	8.8	9.2	9.3	8.7	8.9

受診者内訳	30歳	35歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳	60歳	65歳	70歳	総数	受診率(%)
男性	137	142	499	361	450	124	118	231	152	2,214	6.5
女性	219	286	881	665	650	158	192	300	192	3,543	11.7
総数	356	428	1,380	1,026	1,100	282	310	531	344	5,757	8.9
受診率	11.9%	13.0%	7.9%	6.9%	9.0%	13.0%	15.6%	18.6%	16.7%	8.9%	

1人平均歯数	30歳	35歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳	60歳	65歳	70歳
健全歯	20.4	18.4	15.6	14.0	12.8	12.4	11.2	10.7	9.3
処置歯	6.5	8.8	11.3	12.8	13.5	13.5	13.8	12.7	12.3
未処置歯	1.8	1.4	1.1	0.8	0.8	0.7	1.0	1.1	1.1
現在歯	28.7	28.6	28.1	27.7	27.1	26.6	26.1	24.5	22.8



※CPIコード3以上：歯周ポケット4mm以上あり歯周病が進行している。

#### イ 歯科基本健康診査フォローアップ

歯科基本健康診査受診者で、「要指導」及び歯科医師が必要と認めた者に対し、ニュースレターを送付し、受診者が自ら自分の歯の健康の保持及び歯の喪失の予防を図ることができるよう支援する。

ニュースレター送付者数 1,644人



## 9 健康増進センター事業

### (1) 健康増進センター運営

生涯にわたる健康づくりを推進し、区民の自主的な健康づくりを支援するため、医師、保健師及び栄養士による健康度測定を行い身体状況に応じた運動プログラムを提供し、あわせて運動、保健及び栄養等専門スタッフの指導のもとに、トレーニング機器等を使用した総合的な健康づくりの実践を図っている。

利用対象：区内在住・在勤の18歳以上の方

#### ア 年度別利用者数

##### (ア) 上野健康増進センター

年 度	22	23	24	25	26
トレーニング室等使用者	27,612	25,032	25,366	24,752	24,948
健康度測定受診	86	88	88	83	78

##### (イ) 千束健康増進センター

年 度	22	23	24	25	26
トレーニング室等使用者	2,604	8,271	8,852	9,394	9,915
健康度測定受診	9	30	33	34	22

※平成22年度7月から3月まで千束健康増進センターは改修工事のため休館

(2) 千束・上野健康増進センター 利用の流れ

